

令和元年8月19日

1 京都府営水道乙訓浄水場（京都市西京区）

【調査事項】

京都府営水道乙訓浄水場の取組について

【調査目的】

府営水道は、宇治、木津、乙訓の3浄水場により、府民生活を支える水道用水を供給している。3浄水場の内、最も新しく設置（平成12年度）した乙訓浄水場における安全で質の高い水を安定供給するための取組状況について調査する。

【調査内容】

府営水道は、人口増加期に市町の要望等を受けて、宇治、木津、乙訓浄水場の3浄水場を設置し、7市3町に水道用水を安定供給している。

今回調査した乙訓浄水場は、乙訓地域において地下水の過剰な汲み上げが、地下水位の低下や地盤沈下などの影響を及ぼしていたことから乙訓2市1町の強い要請に基づき建設されたもので、1日に46,000立法メートルの給水が可能な設備として設置された。

水質異常や事故などの非常時には、府営水道の3浄水場が久御山にあるポンプ場で接続され、水のやり取りをすることで、安心・安全な水が安定して供給できるよう運営されており、施設については、「京都府営水道ビジョン」に基づき、計画的に老朽化・耐震化対策を実施している。

また、令和元年6月に乙訓浄水場からの送水に係る異臭苦情が寄せられたことへの対応としては、即日、水質検査を実施し、原因物質の調査、発生状況の推測・確認を行い、再発防止策を講じたとのことであった。

【主な質問事項】

- ・乙訓浄水場設置後の広域水運用の実施状況について
- ・異臭発生苦情への対応について
- ・異臭の原因として考えられるフェノールの流入経路等の把握について
- ・今後の異臭発生の恐れについて など



乙訓浄水場の浄水池を調査



取水、導水ポンプ室を調査

## 2 城陽市地域子育て支援センター ひなたぼっこ（城陽市）

### 【調査事項】

地域における子育て支援や多世代交流の取組について

### 【調査目的】

地域の子育て支援機能の充実を図り、子育てに伴う不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的に設置された、子育て支援センターの活動状況を調査し、今後の子育て施策の参考とする。

### 【調査内容】

城陽市地域子育て支援センター ひなたぼっこは、平成 27 年 12 月に開設された。「子育て支援機能を中心とし、地域や多世代交流機能をあわせ持った施設」をコンセプトとして掲げ、次の機能を持たせて運営している。

#### 1 子育て支援機能

相談室、プレイルーム、図書室、食事スペース、0歳児交流室・授乳室

#### 2 地域・多世代交流機能

交流サロン兼ロビー、交流広場、会議室A及びB、多目的ホール、調理室

施設のメインであるプレイルームの利用については、城陽市内に住所を有する就学前の児童とその家族、妊娠中の方を対象としており、児童 2,300 人が登録（平成 30 年度末）し、平成 30 年度には、6,805 組の親子と 8,486 人の児童が利用されています。

また、地域・多世代交流事業としては、幅広い世代の市民が各種事業を通して積極的に交流することにより、世代間の絆を深めるもので、67 回実施（平成 30 年度末）されています。（主な事業：体幹回復ストレッチ、折り紙・切り絵等）

今後とも子育て中の保護者が安心して子育てできるよう取り組んでいくとともに、地域に根ざした運営を続けたいとのことでした。

### 【主な質問事項】

- ・センター設置前の関連事業の実施状況について
- ・交流を推進するための仕掛けの検討について
- ・センター職員の勤務状況やボランティアの関わりについて
- ・運営を市の直営事業としていることのメリットについて など



多世代交流の実情聴取



主要事業を聴取

### 3 社会福祉法人 秀孝会 京都ひまわり園（八幡市）

#### 【調査事項】

地域に根ざした高齢者福祉施設の取組について

#### 【調査目的】

入所者が自分らしさを大切にし、一人一人に密着したサービスと細やかなケアにより安心して生活が送られるよう、少人数でゆったりとくつろげる空間づくりに取り組んでいる京都ひまわり園の運営状況を調査し、今後の高齢者支援施策の参考とする。

#### 【調査内容】

京都ひまわり園では、平成5年開設以来、次の事業に取り組んでいる。

- ・特別養護老人ホーム（定員50名）
- ・ショートステイ（定員8人）
- ・デイサービス（定員20名）
- ・ホームヘルプステーション
- ・八幡市在宅介護支援センター

京都ひまわり園を設置する社会福祉法人秀孝会では、「一隅を照らす～輝きをもち、必要とされる人になろう～」を基本理念に定め、入所者、利用者、家族の幸福を目指すことに加えて、職員の意識向上にも配意した取組を行っている。

具体的な取組としては、女子ソフトテニス部を創設し、職員が介護に携わりながら、ソフトテニスのトップリーグ入りを目指し、日中は介護、夕方は練習、週末は試合をするなど、入所者と職員の理解と支援を得ながら充実した毎日を過ごしている。

また、現在、ベトナムから、介護職種の技能実習生2名が語学と介護技術の修得に取り組んでいるとのことでした。

今後も地域全体の福祉に貢献できる事業所を目指し、一人一人の関わりを大切にしながら、入所者や家族の方をサポートしていきたいとのことでした。

#### 【主な質問事項】

- ・外国人研修生の受入れ方法、募集について
- ・研修生をベトナムから受け入れようとした理由について
- ・研修生の処遇について
- ・研修生と職員の関係について
- ・研修期間終了後の研修生の活動について など



主要事項を聴取



居室の状況